

僕の三つの後悔。

その一、
六月十一日（木）の朝の三条京阪バス停で
あの子の視線に答えられなかった事。

それを苦にして、勇気をふるって、
六月十五日（月）の午後、僕の気持ちを文字に託し、
あの子に手紙を手渡したが、

その二、
六月十八日（木）の朝の中書島、僕に会う事しか
他に考えられない状況だったのに、中書島の駅に立つ
あの子を避けて、逃げた事。

その三、
七月二十五日（土）の午前の中書島、昨日だ、
偶然、中書島の駅のベンチに座るあの子を
目の前にして、無言で、通り過ぎる愚かな僕。

それで、また、手紙書いた。

本当にこれでいいのだろうか。

ここまで、つれない態度を示して、
本当に、中書島迄、来てくれると思うか？

僕は、大変な事を、あの子に要求しているのでは？
ますます、不安になり、なかなか眠れない。

自分の言いたいの何か